



Cisco IP Telephony Locale Installer の 使用方法 Cisco CallManager 4.0(1)sr2

本書の目的

このマニュアルでは、システム管理者を対象に、Cisco IP Telephony Locale Installer のインストール手順を説明します。Cisco IP Telephony Locale Installer は、英語（米国）以外の言語および米国以外の国のネットワーク トーンと断続周期をサポートし、Cisco CallManager およびその他の Cisco IP テレフォニー製品と連携して使用されます。さらに、ユーザ ロケールとネットワーク ロケール、統合と移行に関する考慮事項、およびインストール前のタスクについて説明し、さらに Locale Installer の動作の概要も示します。

目次

- [概要 \(P.2\)](#)
- [サポートされている Cisco IP テレフォニー製品 \(P.3\)](#)
- [統合に関する考慮事項 \(P.5\)](#)
- [Cisco IP Telephony Locale Installer のインストール \(P.6\)](#)
- [トラブルシューティング \(P.9\)](#)
 - [エラー メッセージ \(P.9\)](#)
 - [注意事項 \(P.9\)](#)
- [Cisco IP Telephony Locale Installer リリース ノートの入手 \(P.11\)](#)

概要

シスコでは、Cisco IP Telephony Locale Installer のロケール固有のバージョンを www.cisco.com で提供しています。システム管理者により Locale Installer がインストールされると、サポートされているインターフェイスを扱うときに、翻訳されたテキストまたはトーンのうち、適用可能なものを選択して表示または受信できます。

ユーザ ロケールの定義

ユーザ ロケール ファイルは、ユーザが選択するロケールにおいて、電話機のディスプレイ、ユーザ アプリケーション、およびユーザ Web ページに関する、使用可能な翻訳されたテキストやボイス プロンプトを提供します。ユーザ ロケール ファイルのみをバンドルした Locale Installer が、cisco.com から提供される場合があります。

ネットワーク ロケールの定義

ネットワーク ロケール ファイルは、使用可能な国別の電話トーンおよびゲートウェイ トーンを提供します。ネットワーク ロケール ファイルのみをバンドルした Locale Installer が cisco.com から提供される場合があります。

シスコでは、単一の Locale Installer に、複数のネットワーク ロケールを結合する場合があります。

結合ロケールの定義

Cisco IP Telephony Locale Installer は、適用可能なユーザ ロケールとネットワーク ロケールを結合し、Web からダウンロードされる単一のファイルとして提供します。



(注)

Cisco Media Convergence Server (MCS) またはお客様が用意するシスコ認定のサーバは、複数のロケールをサポートできます。複数の Locale Installer をインストールすると、多数のロケールの中から、確実に選択できるようになります。

変更内容は、クラスタ内のすべてのサーバを再起動するまで有効になりません。クラスタ内のすべてのサーバ上にすべてのロケールをインストールするまで、サーバを再起動しないことを強く推奨します。コール処理の中断を最小限に抑えるため、サーバの再起動は、通常の営業時間後に行ってください。

サポートされている Cisco IP テレフォニー製品

Cisco IP Telephony Locale Installer は、Cisco IP テレフォニー製品と表1 に示すように対応しています。

表1 サポートされている Cisco IP テレフォニー製品


製品	サポートされている Locale Installer のタイプ	注意事項
Cisco IP Phone Model 7940 および 7960	ユーザ（電話機の LCD の場合） ネットワーク（電話トーンの場合）	Cisco CallManager User Option ページで、電話機に表示されるユーザ ロケールを選択できます。 ¹ 電話トーンを設定するには、管理者が、Cisco CallManager Administration を実行するサーバにアクセスし、Phone Configuration ウィンドウからネットワーク ロケールを選択します。  ヒント Cisco IP Phone Model 7960 は、ISO8859-1 のみをサポートしています。
Cisco Quality Reporting Tool	ユーザ	Cisco CallManager User Option ページで、電話機に表示されるロケールを選択します。 ¹
Cisco CallBack	ユーザ	Cisco CallManager User Option ページで、電話機に表示されるロケールを選択します。 ¹
Cisco WebDialer	ユーザ	Cisco CallManager User Option ページで、電話機に表示されるロケールを選択します。 ¹
Cisco CallManager エクステンション モビリティ	ユーザ	Cisco CallManager User Option ページで、電話機に表示されるロケールを選択します。 ¹
Gateway Tones	ネットワーク	ネットワーク ロケールが対応していないゲートウェイもあります。 Locale Installer 内のゲートウェイ トーンは、データベース内に存在するバージョンを上書きします。 ゲートウェイ トーンを設定するには、管理者が、Cisco CallManager Administration を実行するサーバにアクセスし、Gateway Configuration ウィンドウから Network Locale を選択します。
Cisco Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS)	ローカライズされたボイス プロンプトを提供するユーザ ロケール	ロケールをサーバにインストールしたら、Cisco Customer Response Solutions (CRS) サーバを再起動する必要はありません。 Locale Installer のインストール後、ボイス プロンプトが English_United_States で表示される場合は、P.9 の「トラブルシューティング」を参照してください。
Cisco CallManager User Option ページ	ユーザ	このページから、Web ページ上に表示するロケールを選択できます。
Cisco CallManager Administration User ページ	ユーザ	このページに関する注意事項については、P.9 の「トラブルシューティング」を参照してください。

表 1 サポートされている Cisco IP テレフォニー製品 (続く)

製品	サポートされている Locale Installer のタイプ	注意事項
Cisco CallManager Attendant Console 1.3(1)	ユーザ	<p>担当者は、Attendant Console のログイン ウィンドウからロケールを選択します。ロケールが Cisco CallManager サーバ上に存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。ロケールが存在しない場合、Attendant Console はデフォルトでは英語になっています。</p> <p>サーバを Cisco CallManager 4.0(1)sr2 にアップグレードした後で、Attendant Console PC 上に Attendant Console プラグインを再インストールする必要があります。Cisco CallManager Attendant Console 1.3(1) (またはそれ以降) のリリースのみが Locale Installer と連携できます。</p>
Cisco IP Manager Assistant (コンソール GUI)	ユーザ	<p>マネージャーは、アシスタントと別のロケールを使用できることに注意してください。</p> <p>Cisco CallManager Administration User ページでロケールを選択します。</p> <p>これらのページでロケールを設定する方法の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。</p>
Cisco CDR Analysis and Reporting (CAR)	ユーザ ロケールは、エンドユーザレポートのローカライズされたバージョン、およびエンドユーザグラフィカルユーザインターフェイス (GUI) を提供します。	<p>CAR でサポートされるのは、英文字のセット (ISO-Latin1 または ISO-8859-1)、たとえば、英語 (米国) および西ヨーロッパ言語だけです。</p> <p>CAR ユーザのユーザ ロケールを設定するには、管理者が、Cisco CallManager Administration を実行するサーバにアクセスし、User Configuration ウィンドウから User Locale を選択します。</p> <p>管理者が CAR ユーザのユーザ ロケールを設定していない場合、CAR ユーザは Cisco IP User Option ページでロケールを選択できます。CAR ユーザは、Change the Locale for the device profile(s) and these web pages へのリンクをクリックし、ロケールを選択します。</p> <p>サーバにアクセスして English_United_States ではない他のロケールでレポートおよび GUI を表示する場合、適切な権限 (管理者特権ではない) を持つユーザ名とパスワードを入力する必要があります。</p>
Cisco ATA 186 Analog Telephone Adaptor	ネットワーク	<p>トーンを設定するには、管理者が、Cisco CallManager Administration を実行するサーバにアクセスし、Phone Configuration ウィンドウからネットワーク ロケールを選択します。</p>

1. 管理者は、Cisco CallManager Administration の Phone Configuration ウィンドウでユーザ ロケールを選択できます。電話機をリセットした場合、電話機に表示されるロケールは、管理者またはユーザが前回選択した内容で決まります。選択した内容に優先順位はありません。

Cisco Java Telephony Application Programming Interface (JTAPI) および Cisco Telephony Service Provider (TSP) について

Cisco JTAPI および Cisco TSP の場合、Locale Installer をダウンロードしてロケールを取得する必要はありません。ロケールは、アプリケーション内に自動的に組み込まれます。アプリケーションをインストールする場合は、インストールの表示に使用するロケールを選択します。新しいロケールが追加された場合や、現在のロケールをアップグレードする場合は、アプリケーションのアップデートバージョンを入手し、アプリケーションを再度インストールする必要があります。

統合に関する考慮事項

Cisco IP Telephony Locale Installer 4.0(1) は、Cisco CallManager Release 4.0(1)sr2 をサポートしています。統合と移行の詳細については、表 2 を参照してください。

表 2 統合に関する考慮事項

Cisco IP テレフォニー アプリケーションのバージョン	考慮事項
Cisco CallManager	
旧バージョンから 4.0(1)sr2 へのアップグレード	<p>Cisco CallManager Release 4.0(1)sr2 にアップグレードすると、Release 3.2 以降の Cisco CallManager に存在するすべてのロケールが移行されます。ただし、クラスタ内のすべてのサーバに Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールするまで、新しいフレーズおよびボイス プロンプトは English_United_States でのみ表示されます。</p> <p>クラスタ内のすべてのサーバに Locale Installer をダウンロードし、必要に応じて Cisco CallManager Administration からロケールを選択するまで、新しい Cisco IP テレフォニー製品のエンドユーザ GUI は English_United_States で表示されます。Cisco CallManager Administration からロケールを選択するかどうかを判断するには、製品の資料を参照してください。</p> <p>Locale Installer がインストールを行うたびに、既存のインストール情報が上書きされ、最初のインストール時と同様の状態になります。</p>
4.0(1)sr2 の新規インストール	<p>Cisco CallManager をインストールする場合、クラスタ内のサーバには English_United_States ユーザとネットワーク ロケールだけがインストールされます。</p> <p>English_United_States 以外のロケールを取得するには、クラスタ内のすべてのサーバに Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールする必要があります。</p> <p>Locale Installer をインストールした後もフレーズとボイス プロンプトが English_United_States で表示される場合は、P.9 の「トラブルシューティング」を参照してください。</p>
Cisco Customer Response Solutions (CRS)	
CRS 2.0 または 3.0 のすべてのバージョンのインストールまたはアップグレード	これらのバージョンは、CRS サーバに Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールするための最小要件を満たしています。

Cisco IP Telephony Locale Installer のインストール



注意

クラスタ内のすべてのサーバに Cisco CallManager 4.0(1)sr2 をインストールしてから、Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールする必要があります。



注意

変更内容を有効にするには、サーバをリブートする必要があります。ローカルのインストール手順がすべて完了したら、クラスタ内の各サーバを再起動します。クラスタ内のすべてのサーバを再起動するまで、システム内でのアップデートは行われません。サービスはサーバのリブート後に再起動されます。

コール処理の中断を最小限に抑えるため、通常の営業時間中はサーバを再起動しないでください。



ヒント

タスクを実行する場合は、Virtual Network Computing (VNC) から Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールできます。

Cisco CallManager のインストール時に Microsoft Terminal Services (TS; ターミナル サービス) がインストールされた場合は、TS を使用して Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールできます。

手順

- ステップ 1** クラスタ内のすべてのサーバに Cisco CallManager 4.0(1)sr2 をインストールしたことを確認します。
- ステップ 2** <http://www.cisco.com/kobayashi/sw-center/telephony/callmgr/locale-installer.shtml> をクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- Cisco CallManager Administration の Plugin ページから Locale Installer をインストールする場合は、次の手順を実行します。
- a. **Start > Programs > Cisco CallManager > Cisco CallManager Administration** を選択します。
 - b. Administrator アカウントとパスワードを使用して、Cisco CallManager Administration にログインします。
 - c. **Application > Install Plugins** を選択します。
 - d. Cisco IP Telephony Locale Installer を表すアイコンをクリックします。
- Web サイトの Voice Products のソフトウェア ページが表示されます。
- ステップ 3** Cisco IP Telephony Locale Installer のバージョンをクリックします。
- Locale Installer のページが表示されます。
- ステップ 4** 実行可能なプログラムをサーバにダウンロードするには、該当するプログラムをクリックします。
- ステップ 5** ファイルをダウンロードしたら、ファイルをハードドライブに保存します。

ステップ 6 保存したファイルの場所を書き留めます。

ステップ 7 ファイルをダブルクリックして、インストールを開始します。

ステップ 8 Setup ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスに、Installer が前回アップデートされた日付が表示されます。Setup をクリックします。

ファイルの抽出が開始します。Setup ダイアログボックスのステータスバーに開始したことが表示されます。

Install Wizard ウィンドウには、インストールの開始から終了までの手引きが示されます。Cancel をクリックすると、プログラムが終了します。

ステップ 9 Welcome ウィンドウに、サーバにインストールできるコンポーネントとバージョンが表示されま
す。Next をクリックします。

アプリケーションが設定ファイルにアクセスできない場合、セットアッププロセスが停止したことを示すプロンプトが表示されます。

ステップ 10 License Agreement ウィンドウが表示されたら、ペイン内の情報を注意して読みます。使用許諾のすべての内容に同意する場合は、Yes をクリックします。

ステップ 11 Component Selection ウィンドウに、インストールに使用できるコンポーネントがすべて表示されま
す。ウィンドウ内のすべてのチェックボックスが自動的にオンになります。インストールしないコン
ポーネントがある場合は、そのコンポーネントのチェックボックスをオフにします。Next をク
リックします。

ステップ 12 Start Copying Files ウィンドウで、インストールするコンポーネントを確認します。Next をクリック
します。



(注) ペインにリストされているファイルとは別のファイルをインストールする場合、Back をクリック
し、適切なコンポーネントを選択します。

Setup Status ウィンドウが表示され、インストールのステータスが示されます。インストール プロ
セスに要する時間は、要求された操作によって異なりますが、1～3分を要します。

ステップ 13 Installation Completion ウィンドウが表示されます。目的に応じて、次の手順を実行します。

a. 別のロケールをインストールしない場合や、単一のロケールをすべてのサーバにインストール
した場合は、**Yes, I want to restart my computer now** をクリックし、**ステップ 14** に進みます。

この選択は、クラスタ内のすべてのサーバ上で、ロケールのインストールがすべて完了した場
合にだけ行うことを推奨します。

b. 別のロケールをインストールする場合や、単一のロケールをすべてのサーバにインストールし
ていない場合は、**No, I do not want to restart my computer now** をクリックし、**ステップ 14** に進
みます。

コール処理の中断を最小限に抑えるため、通常の営業時間中はサーバを再起動しないでくださ
い。

ステップ 14 Finish をクリックします。

ステップ 15 Setup ダイアログボックスが表示されます。ボタンをクリックしたり、キーを押したりしないでください。

ダイアログボックスが自動的に閉じると、サーバでのインストールが完了します。

ステップ 16 クラスタ内のすべてのサーバに Cisco IP Telephony Locale Installer をインストールします。



ヒント

クラスタ内のすべてのサーバに同一のコンポーネントをインストールしたことを確認してください。

ステップ 17 別のロケールをインストールする場合は、クラスタ内のすべてのサーバに対して、[ステップ 2](#)～[ステップ 16](#) を実行します。

ステップ 18 ロケールのインストール手順がすべて完了したら、クラスタ内の各サーバを再起動します。

クラスタ内のすべてのサーバを再起動するまで、システム内でのアップデートは行われません。サービスはサーバのリブート後に再起動されます。

ステップ 19 サポートされている製品のロケール（複数）をユーザが選択できることを確認します。

トラブルシューティング

次の「[エラーメッセージ](#)」と「[注意事項](#)」に記載されているトラブルシューティングのヒントを検討します。

エラーメッセージ

次のエラーメッセージを参照してください。これらのメッセージは、インストールの作業中に表示されることがあります。

This machine is neither a TAPS server nor a Cisco CallManager server.

インストールに適したサーバを使用してください。

The locale installer cannot install a component; for example, error updating CAR image file, cannot find/create directory, cannot install component files.

インストールが失敗した場合は、Cisco CallManager データベースから、インストール済みのファイルおよびエントリがすべて削除されます。

The Locale Installer 4.0(1) will not run on Cisco CallManager versions lower than 4.0(1)sr2.

Locale Installer 4.0(1) は、Cisco CallManager Release 4.0(1)sr2 以前のバージョンにはインストールできません。Locale Installer のインストールが停止します。

注意事項

Cisco IP Telephony Locale Installer に固有の問題については、次の注意事項、および対応するバージョンの Cisco IP Telephony Locale Installer のリリース ノートを参照してください。リリース ノートを手にするには、次の URL をクリックします。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/locinst/index.htm>



注意

DC Directory、Netscape Directory、または Active Directory で、英語以外の文字セットを使用すると、ディレクトリ データベース エラーが発生する可能性があります。Cisco CallManager Release 4.0 でサポートされるのは、どのディレクトリに対しても英文字のセット (ISO-Latin1 または ISO-8859-1)、Windows 1251-Cyrillic、および Windows 1253-Greek だけです。

インストール完了後に、English_United_States フレーズおよびボイス プロンプトが表示されません。

この状況では、クラスタに問題は発生しません。cisco.com から入手できる最新の Locale Installer を使用していない可能性があります。さらに、シスコが Cisco CallManager データベースをアップデートしても、Cisco IP Telephony Locale Installer をすぐにはアップデートしないことがあります。

再度、すべてのサーバに Locale Installer のインストールを試みます。English_United_States のフレーズまたはボイス プロンプトが表示される場合は、Locale Installer のアップデート バージョンが cisco.com 上に掲載されるまで待ちます。Locale Installer のアップデート バージョンをダウンロードして、インストールします。



(注) Cisco TAPS ボイス プロンプトと Cisco Non-IOS ゲートウェイ ネットワーク トーンは、English_United_States には戻りません。

Cisco CallManager は、Cisco CallManager Administration の User 領域で、英文字のセットのみをサポートしています。

Locale Installer をダウンロードすると、Cisco CallManager Administration の User 領域のフィールド名を、選択した言語で表示できます。ただし、Cisco CallManager では、フィールドにおいても、これらのウィンドウへのアクセスに必要なすべてのユーザアカウントとパスワードにおいても、サポートされるのは英文字のセット（ISO-Latin1 または ISO-8859-1）だけです。ユーザが英文字のセット以外のデータを入力した場合は、ダイアログボックスが表示され、英文字のセットでデータ入力する必要があることが警告されます。

ご使用のシステムでは、電話機のトーンおよびゲートウェイ トーンを別々に選択できます。

別のネットワーク ロケールを使用する場合は、パラメータまたはデバイス プールのネットワーク ロケールを選択したことを確認します。パラメータまたはデバイス プールは、Locale Installer を使用するゲートウェイおよび電話機のすべてのデバイス タイプでサポートされています。

新しい Locale Installer が存在します。

Release 4.0(1)sr2 以外のバージョンの Cisco CallManager に対して、新しい Locale Installer をインストールすることはできません。ただし、本書、readme ドキュメント、または『Cisco CallManager Compatibility Matrix』で特に明記されている場合を除きます。

ロケールまたは Cisco IP Telephony Locale Installer は、アンインストールできません。

ロケールまたは Locale Installer を変更、修復、または削除するオプションは用意されていません。Locale Installer を何度も実行すると、ロケールがサーバにインストールされていない場合と同じように、ロケールが再インストールされます。

復元手順を実行したら、Locale Installer を再インストールする必要があります。

Cisco IP Telephony Applications Server Restore Utility は Locale Installer を復元しません。Cisco CallManager データを復元したら、Locale Installer を再インストールする必要があります。

Cisco IP Phone では、ファースト ダイヤル コードとファースト ダイヤルサービスまたは個人アドレス帳はローカライズされていません。

電話機上では、ファースト ダイヤルと個人アドレス帳のテキストは、英語のみで表示されます。

Cisco IP Telephony Locale Installer リリース ノートの入手

Cisco IP Telephony Locale Installer のリリース ノートを手入手するには、次の URL をクリックします。

<http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/locinst/index.htm>

マニュアルの入手

マニュアルやその他の技術リソースを手入手したり、テクニカル サポートを受けたりするには、いくつかの方法があります。ここでは、シスコシステムズから技術情報を手入手する方法を紹介します。

Cisco.com

マニュアルの最新版は、WWW の次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコ Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com>

各国のシスコ Web サイトには、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

マニュアルの発注方法

マニュアルの発注方法については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/pdi.htm

シスコのマニュアルは、次の方法でご発注いただけます。

- Cisco.com 登録ユーザ（シスコの直接顧客）は、Networking Products MarketPlace からシスコ製品のマニュアルを発注できます。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/index.shtml>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

テクニカル サポート

シスコと正式なサービス契約を交わしているすべてのお客様、パートナー、リセラー、および代理店は、Cisco TAC (Technical Assistance Center) の 24 時間体制のテクニカル サポートをオンラインまたはお電話にてご利用いただけます。シスコでは、技術上のあらゆる問題の最初の窓口として Cisco.com を運営しています。

Cisco TAC Web サイト

Cisco TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) には、トラブルシューティングに役立つ、シスコ製品や技術の問題を解決するためのオンラインのマニュアルやツールが用意されています。Cisco TAC Web サイトは、24 時間 365 日体制で対応しています。

Cisco TAC Web サイトのすべてのツールには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得されていない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

TAC の検索

オンラインの TAC Case Open ツール (<http://www.cisco.com/tac/caseopen>) は P3 および P4 の問題に迅速に対応します (ご使用のネットワークには障害がほとんどないこと、または製品情報が必要)。ユーザが状況を入力すると、TAC Case Open ツールがその状況をすぐに解決するために、必要なリソースを自動的に推奨します。これらの推奨リソースで解決できない場合は、Cisco TAC のエンジニアが対応します。

P1 または P2 の問題 (使用中のネットワークが停止したか著しく性能が低下している) の場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC にお電話でご連絡ください。Cisco TAC の担当者がすぐに P1 および P2 の問題に対応し、業務をスムーズに遂行できるようにサポートします。

電話で問い合わせるには、次の電話番号のいずれかをご使用ください。

アジア太平洋地域 : +61 2 8446 7411 (オーストラリア : 1 800 805 227)

欧州アフリカ地域 : +32 2 704 55 55

米国 : 1 800 553-2447

Cisco TAC の連絡先については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

TAC 優先レベルの定義

すべての事例が標準形式で報告されるように、事例の優先レベルを定義しています。

優先レベル 1 (P1) : 使用中のネットワークが停止し、業務に致命的な影響を及ぼしている。シスコはお客様と協力して、問題が解決するまで 24 時間体制で必要なリソースを投入します。

優先レベル 2 (P2) : 使用中のネットワークのパフォーマンスが著しく低下したり、またはシスコの製品の不十分なパフォーマンスのために、業務に重大な悪影響を及ぼしている。シスコはお客様と協力して、問題解決のために、通常の営業時間内で専任のリソースを投入します。

優先レベル 3 (P3) : ネットワークのパフォーマンスが低下したが、ほとんどの業務が機能している。シスコはお客様とともに、通常の営業時間内にリソースを投入して、サービスを満足いくレベルまで回復させます。

優先レベル 4 (P4) : シスコ製品の機能、インストラクション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要である。業務にほとんど影響しない、またはまったく影響しない。

その他の資料および情報の入手

シスコの製品、技術、ネットワーク ソリューションに関する情報は、オンラインで、また、出版物として入手できます。

- 『Cisco Product Catalog』では、シスコシステムズが提供しているネットワーク製品とその発注方法、およびカスタマー サポート サービスについて説明しています。『Cisco Product Catalog』は、次の URL で参照できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/products_catalog_links_launch.html
- Cisco Press では、ネットワーク関連の広範囲な出版物を発行しています。次の各書籍は、経験の浅いユーザにも経験豊富なユーザにも推奨できます。『*Internetworking Terms and Acronyms Dictionary*』、『*Internetworking Technology Handbook*』、『*Internetworking Troubleshooting Guide*』、および『*Internetworking Design Guide*』。現行の Cisco Press の発行書籍とその他の情報は、次の URL で Cisco Press online から参照できます。
<http://www.ciscopress.com>
- 『*Packet magazine*』はシスコの季刊誌で、最新のネットワークの傾向、技術情報、およびシスコの製品とソリューションを提供することで、業界の専門家の方々がネットワーク事業への投資を最大限に生かすために役立ちます。これには、ネットワークの配置やトラブルシューティングのヒント、構成例、顧客のケース スタディ、チュートリアルとトレーニング、認定資格情報、詳細なオンライン リソースへの数多くのリンクが含まれています。情報誌『*Packet*』は、次の URL で参照いただけます。
<http://www.cisco.com/go/packet>
- 『*iQ Magazine*』はシスコの隔月刊誌で、インターネット ビジネス戦略についての最新情報を役職者の方々に提供しています。『*iQ Magazine*』は、次の URL で参照できます。
<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>
- 『*Internet Protocol Journal*』は季刊誌で、技術の専門家、つまり、パブリックなインターネットおよびプライベートなイントラネットの設計、開発、運用に携わる方々を対象としています。『*Internet Protocol Journal*』は、次の URL で参照できます。
http://www.cisco.com/en/US/about/ac123/ac147/about_cisco_the_internet_protocol_journal.html
- トレーニング：ネットワークの高水準なトレーニングを提供しています。現在提供しているネットワーク トレーニングの一覧は、次の URL で参照できます。
http://www.cisco.com/en/US/learning/le31/learning_learning_resources_home.html

CCIP、CCSP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ Logo、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、MGX、MICA、Networkers ロゴ、Networking Academy、Network Registrar、*Packet*、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. およびその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0304R)

Copyright © 2004, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501